
FIP? いや、Non-FIT時代が来た。 ～大規模需要到来に向けて～ XSOL ワンストップ! EPCネット

株式会社エクソルは、2025年日本国際博覧会の「大阪ヘルスケアパビリオン」に協賛しています。



ひきだしたい、無限の太陽力。



© 2024 XSOL CO., LTD.

2024年2月
株式会社エクソル
SI事業本部 SI管理部 関 翔太郎

これまではFITがメイン。しかしFIT制度が終了してこれからはFITに頼らないNon-FIT時代が到来する

多様化する導入方法



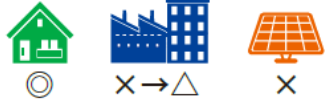
これまで 【65GW以上※】

既存PV発電所も潰さない。改修やリパワリングを行い『寿命のない太陽光発電』を実現

これから(2030~40年まで)【135~185GW以上※】

導入方法が多様化し、普及が加速する

FIT
余剰



アグリゲート
VPP

FIT
余剰



Non-FIT
余剰



FIT
全量



アグリゲート
VPP

FIT・FIP
全量



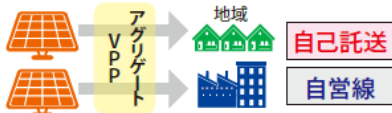
Non-FIT
全量



100%
自家消費



オフサイト
100%
自家消費



オンサイト
100%
自家消費



再エネ由来の電力が使えることで
「脱炭素社会の実現」
「企業の環境対策」
「頻発する災害対策」
での太陽光需要が高まっている！

※PV導入量 (ACベース)

Non-FITの導入を様々な企業が採用。導入のスピードが加速している

自家消費 導入事例

- 2024年 1月 シチズン時計（佐久市の工場に1.7MWのメガソーラー）
- 2023年11月 パナソニック（2MWの屋根置きメガソーラー）
- 2023年11月 一条タウン西伊場（浜松市のスマートタウンに3MW）
- 2023年 6月 旭松食品（本店・工場に690kW）
- 2023年 5月 ユニクロ（前橋に省エネ店舗、太陽光で需要の3割）
- 2023年 4月 アイリスオーヤマ（国内9工場に合計12MW）
- 2023年 4月 日本生協連（尾道市の物流施設にソーラーカーポート）
- 2023年 3月 ヨコレイ（冷蔵倉庫に816kW。災害時も1日冷却）
- 2023年 2月 ケーヨーD2（3店舗にソーラーカーポート）
- 2023年 1月 丸亀製麺（鈴鹿市の環境配慮型店舗に）
- 2023年 1月 日本郵政（名古屋市天白郵便局に設置）
- 2022年 5月 ヤマトHD（810営業所に導入）
- 2022年 1月 ファミリーマート（ファミマecoビジョン2050の一環として）
- 2020年 1月 千葉市（全ての市立学校などに整備。避難所活用も）

オンサイトPPA 導入事例

- 2024年 2月 宮崎大学（3.8MWのメガソーラーカーポート）
- 2024年 1月 イオンモール（12店舗に合計15MWのソーラーカーポート）
- 2023年11月 関西国際空港、大阪国際空港（8カ所、23MW設置）
- 2023年11月 横浜市（学校屋上太陽光の余剰電力を図書館へ）
- 2023年 9月 アルペン（18店舗、合計3.7MW）
- 2023年 5月 キリンビバレッジ（湘南工場に設置）
- 2023年 5月 オムロン（電子部品事業の国内5生産拠点に設置）
- 2023年 7月 西濃運輸（倉庫電力の3割を太陽光で10拠点設置）
- 2023年 3月 貝印（長岡市の流通センターに設置）
- 2023年 2月 プリヂストン（国内2工場で5.8MW設置）
- 2023年 2月 広島空港（2.6MWのソーラーカーポート）
- 2023年 1月 キリン堂（81店合計で約10MW設置）
- 2022年 6月 埼玉県毛呂山町（「オンサイトPPA太陽光」でまちづくり）
- 2022年 2月 キューピー（神戸工場に同社初のオンサイトPPA設置）

Non-FITの導入を様々な企業が採用。導入のスピードが加速している

Non-FIT野立て 導入事例

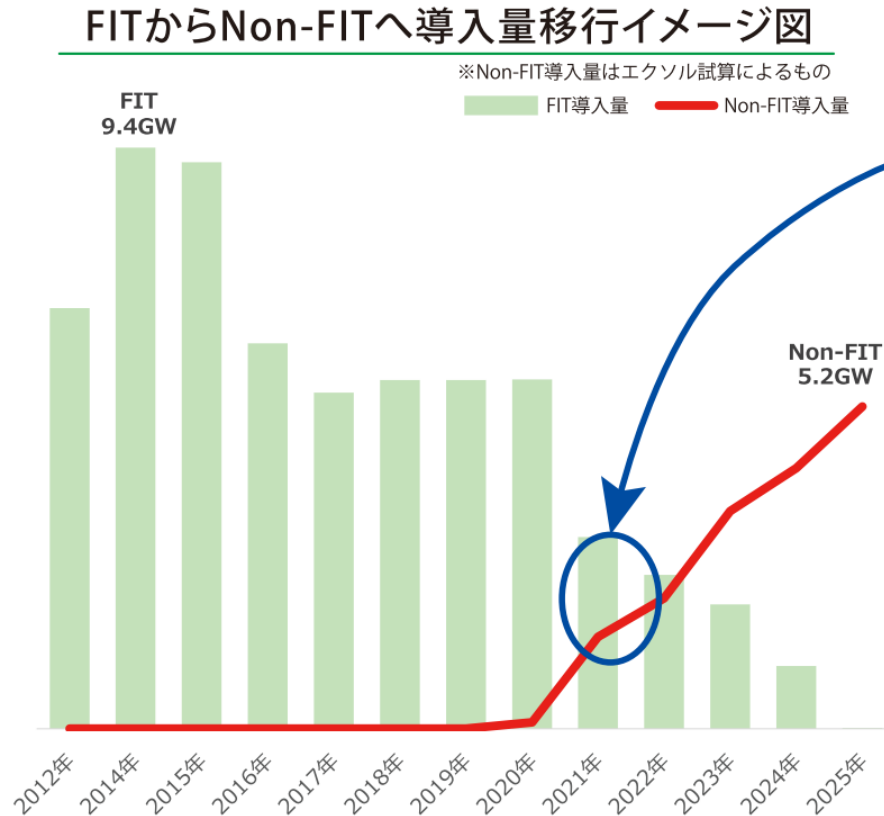
- 2024年 2月 プロテリアル（敷地内の遊休地・グラウンドなど10MW）
- 2024年 1月 中国電力（営農型、東洋鋼鋸向けに64MW開発へ）
- 2023年12月 レオン自動機（宇都宮市の工場に588.6kW）
- 2023年12月 佐渡島（メガソーラー1.5MWと蓄電池設置）
- 2023年 9月 ヒューリック（非FIT太陽光のみでRE100を達成）
- 2023年 4月 NTTアノード（福島県有施設に506kW）
- 2023年 2月 東急不動産など12社（東松山市で営農型の実証実験）
- 2023年 2月 成田空港（滑走路近傍や建物屋上など180MW）**
- 2022年 9月 網走市（網走市内の4カ所に合計1.5MW）
- 2022年 7月 JR九州（山口県下関市彦島の遊休地に太陽光）
- 2021年10月 ウエストHD（小規模太陽光 2年で2000カ所）
- 2021年10月 ヤンマーエネルギーシステム（滋賀県栗東市のゴルフ場に）
- 2021年 7月 所沢市（ソーラーシェアリングとして989.04kW）
- 2020年 2月 戸田建設（長崎に出力約2MWのメガソーラー）

オフサイトPPA 導入事例

- 2024年 2月 千葉市（大型商業施設「プレナ幕張」に約1.5MW）
- 2024年 2月 イオン北海道（道内最大のオフサイトPPA稼働）
- 2024年 1月 上智大（四谷キャンパスに追加性のある再エネ電力導入）
- 2024年 1月 住友生命（住友生命の本社などに電力供給）
- 2024年 1月 戸田建設（リゾート施設に供給）
- 2023年12月 JR西日本（双日の複数のメガソーラーから電力調達）
- 2023年12月 千葉エコ・エネルギー（営農型太陽光で100MW）**
- 2023年11月 日本ベネックス（奈良の物流施設に4MWのメガソーラー）
- 2023年11月 住友商事（複合型オフィスビルに供給）
- 2023年10月 森ビル（営農型メガソーラー6サイトを開発・運営）
- 2023年10月 札幌トヨタ（35拠点（33店舗・2施設）で使用）
- 2023年 2月 アマゾン（国内合計700カ所、出力約70MW）
- 2021年12月 ローソン（三菱商事と提携全国約500カ所に合計45MW）
- 2021年 6月 セブン&アイ・ホールディングス（国内初のオフサイトPPA）

導入方法が多様化して拡大していることによる課題

各自治体や企業では、**自家消費**、**オンサイトPPA**、**Non-FIT野立て**、**オフサイトPPA**などの導入が増加している



現在、既に移行が活発的に進み、
Non-FITでの導入量が急拡大

Non-FITで導入することで、
制度に縛られない自由な設置が
実現し、導入方法も多様化

しかし、FITからNon-FITへのバトンタッチがうまくできていない

なぜFITからNon-FITへのボタンタッチがうまくできていないのか

FITとNon-FITでは導入に必要な主な知見の種類が違う

	Non-FIT導入のための必要な知見	FIT導入のための必要な知見
FITに関わる知見 (再生可能エネルギー電機の利用の促進に関する特別措置法)	■	●
土木に関わる知見 (土砂災害防止法 土木工事共通仕様)	●	●
電気に関わる知見 (電気事業法 電気設備技術基準)	●	●
機器の組み合わせに関わる知見 (監視装置・PCS・表示モニタ・蓄電池・EV充電器など)	●	▲ (監視装置・PCS)
建築構造物に関わる知見 (建築基準法)	●	▲
消防に関わる知見 (消防法 火災予防条例)	●	▲
廃棄物処理に関わる知見 (建設リサイクル法 廃棄物処理法)	●	●
大気汚染に関わる知見 (大気汚染防止法 アスベスト)	●	■
規格に関わる知見 (JIS JEM JEC 地上設置型太陽光システムの設計ガイドライン)	●	▲
その他自治体毎に定める条例に関わる知見	●	●
電力小売り及び送配電の知見	●	■
システム構成の知見	導入方法が多様化された事により設計が複雑化 パターン化させづらいこともあり、参入までの労力が増加	シンプルのため、パターン化させやすい 設計・施工が容易なため参入しやすい

導入方法の多様化・複雑化

- 自家消費
- オンサイト PPA
- Non-FIT 野立て
- オフサイト PPA

太陽光発電需要の高まり

- 脱炭素社会の実現
- 企業の環境対策
- 頻発する災害

知見者 不足

- 機器の組み合わせに係る知見
- 建築構造物に係る知見
- 電気に係る知見
- 規格に係る知見

⋮

知見がある会社(専門集団)に

大行列が発生!

Non-FIT導入の知見不足によりトラブルが頻発

設計者が電力協議の内容を理解しておらず、**保護継電器の選定を間違えてしまった**

**是正工事と運転開始日の
遅延が発生**

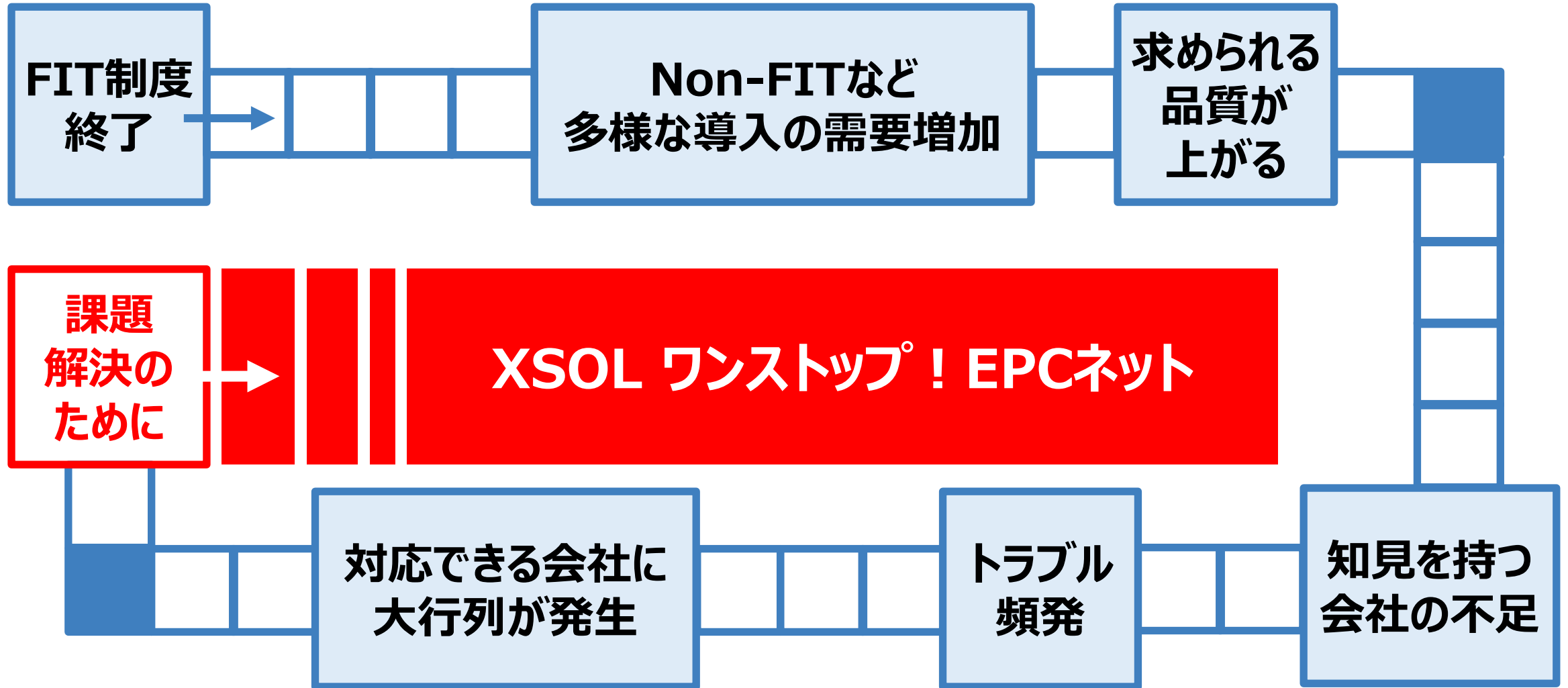
施工会社が受変電設備への積算電力量計・保護継電器の配線についての内容を把握できておらず、**誤配線が起きてしまう**

是正工事が発生

営業のヒアリング不足により、**設計時の機器メーカーの組み合わせがお客様の要望を満たさない事が発覚**

追加費用が発生

「多様化した導入の需要が増加している太陽光発電」の課題解決のために



EPCとは

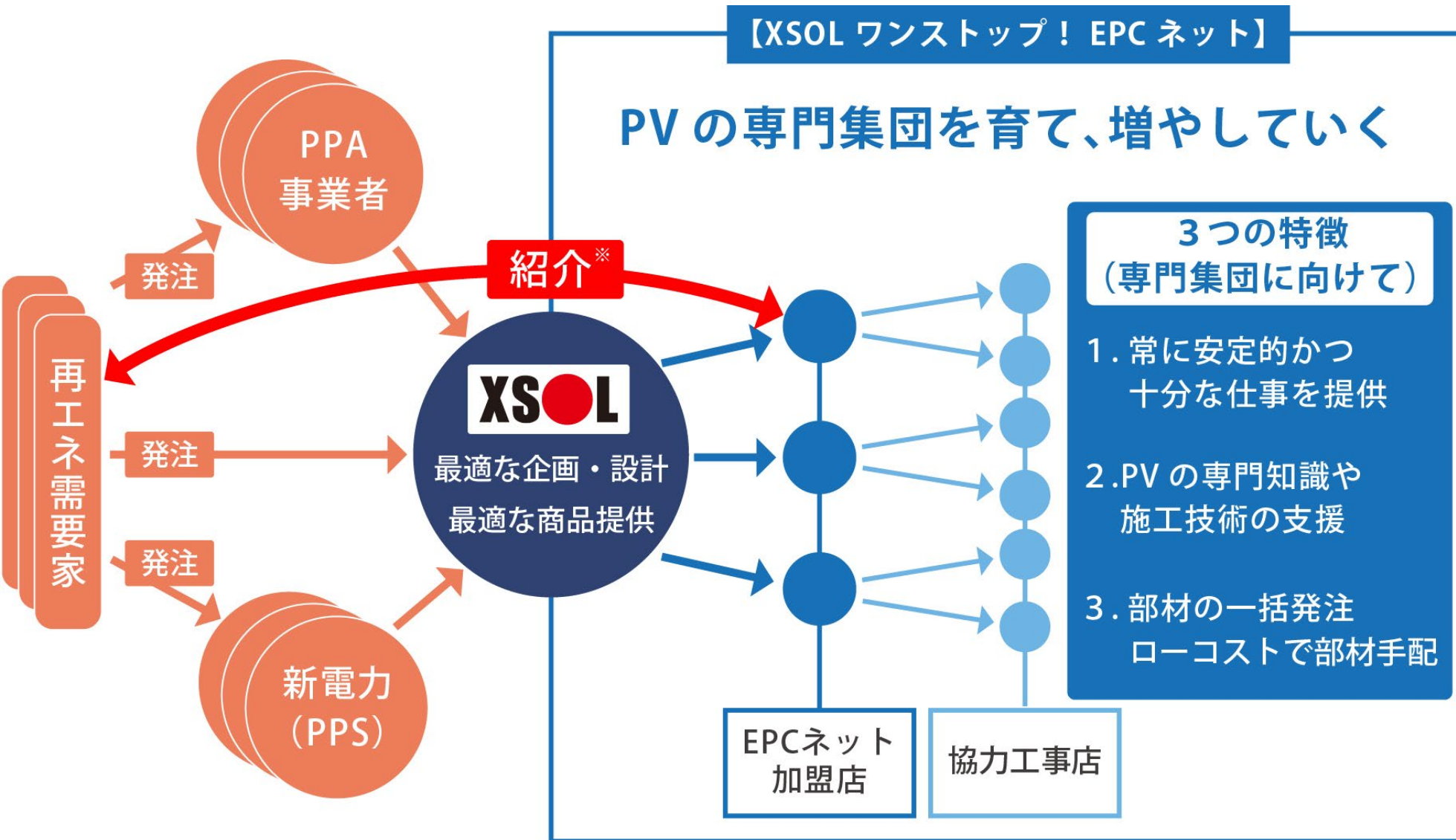
E ngineering **設計**

P rocurement **調達**

C onstruction **建設**

3つのフェーズからなる大型設備やプラントなどの据え付け・建設に関して使用される用語。
一般的にはエンジニアリング事業のワークフローの仕組みをいい、それぞれの頭文字をとって「EPC事業」「EPC契約」といった名称で使われている。

「XSOL ワンストップ！ EPCネット」とは



施工会社様の要望・課題も解決

太陽光発電設備の
工事を一式で請けたいが
進め方がわからない

専門性が高く
新規参入しづらい

設計は難しいが
工事なら任せてほしい

引き合いがあれば
元請としても対応していきたい

自社で受けきれない案件を
エクソルが対応

「XSOL ワンストップ！EPCネット」加盟特典

エクソル社内向けに実施している分野別セミナーを配信

Non-FITで求められる知識のポイントを専門分野別に配信 *配信方法については只今準備中

エクソルが培ってきた太陽光発電の設計・施工のノウハウを実務レベルで共有

調査・設計・調達・施工に至るまで、案件単位でEPCとして請け負っていただくサポートを行います

エクソルの品質を共有し、太陽光発電の専門集団へ

エクソルが求める設計品質・施工品質を共有させていただき、太陽光発電の専門集団に加わっていただきます

EPCネットに加盟していただいた施工会社様への優遇措置

全行程（調査・設計・各種申請・調達・現場管理・工事など）を理解・実行できるようになっていただければ
ご要望に応じて直接元請けとして再エネ需要家をご紹介いたします

Non-FIT・FIP時代が到来！

「共創」を力に大規模需要とともに

乗り越えていきましょう！

